

■米国：カリフォルニア州当局、世界最大規模の太陽熱発電プロジェクトを承認

カリフォルニア州エネルギー委員会(CEC)は2010年9月15日、太陽熱発電事業者の Solar Trust of America 社がアリゾナ州境近くに計画している太陽熱発電プロジェクト(トラフ型)の建設許可を出した。同社の発表によれば、本プロジェクトの投資額は60億ドル、発電出力は100万kW(25万kW×4基)で、世界最大の太陽熱発電プロジェクトである。30万戸以上の住宅への電力供給、および年間200万トンのCO₂削減効果を見込んでいる。発電電力については、サザン・カリフォルニア・エジソン社が20年間の買電契約を結んでいる。事業実施は、同社の関連会社である Solar Millennium 社ほか2社とのジョイント・ベンチャー形式で行われ、2010年末までの建設開始を目指している。なお、CECは本プロジェクト以外にも、承認待ちの大規模なプロジェクトを多数控えており、これらが全て実現すれば、現在の国内の太陽熱発電総容量の4倍に達するとの予測もある。